



新村の人口・世帯数
令和元年 7 月 1 日現在
人口 3,250 人
世帯数 1,320 世帯

災害に備えて

防災用無線機を整備

6 月 23 日 (日) 新村地区の防災訓練が実施されました。訓練内容は安否の確認。その方法は各町会で違いはありますが、普段から顔の見える関係にある地域コミュニティ単位 (隣組) で確認し、隣組長さんが町会長に報告するという一定の基準を示して実施されました。

また、各町会長には防災用の無線機が配備され、安否確認はもとより、災害情報収集や一斉連絡に役立つとのこと。秋には訓練時間をお知らせしない「抜き打ち訓練」も予定されているとのこと、いざという時のために日頃から安否確認の方法や集合場所などを確認しておきましょう。



この無線機は、赤い羽根共同募金の配分金で整備されました。

協働の輪を広げましょう

災害時サポート事業所登録

災害時に地域に身近な事業所や商店が地域の防災活動に協力していただくための「災害時サポート事業所登録制度」をご存知でしょうか？

現在、松本市内の事業所では 52、新村地区では 3 事業所が登録しています。下新北町会内のパチンコ店「E X 松本店」が登録をしたと同じ、町会役員の視察に同行しました。



説明を聞く町会の皆さん

店内のカウンター近くには備蓄水や携帯トイレなどが置かれ災害時には無償提供するほか、避難場所としての提供や人命救助などの労務提供を支援の内容として登録されているようです。事業所のできる範囲で地域の防災活動に協力する制度です。減災を目指し協働の輪が一層広がるといいですね！



手を挙げて、右みて左みて渡りましょう！

交通安全教室 「わたりジョーズ君」体験

6 月のふれあい健康教室で交通安全教室を開催、60 名の参加者が道路を横断する際様々な危険をシミュレーションできる「わたりジョーズ君」を体験しました。道路横断中に物陰から突然現れる車や自転車などに驚きぶつかりそうになる体験者が続発し、「こんなに危ない事があるんだね。」と感想が聞かれました。

交通安全教育支援センターの寸劇では、「左右の目には利き目があつて見え方に差があり、利き目でない方向から来る車は見えにくい傾向にある」「夕方からは蛍光反射グッズを身に付けて外出する」など、車から身を守る大切なポイントを学びました。



八束穂

安塚出身の、故西原比呂志画伯をご存知だろうか。「かしわや」さんの包装紙でお馴染みだと思ふ。画伯のお話をお聞きしたいと、お店

に伺ったところ、4 月 23 日発行の女性雑誌に「両陛下のお気に入り」というカラー写真入り記事を見せて頂いた。画伯の「白い鳩」という絵が掲載されていた。上皇后陛下様のお気に入り、終戦記念日前後に毎年飾られているそうだ▼画伯の絵は油彩画もイラスト風の物もとても良い。神州一味噌 (株) み子ちゃんのキャラクターは 50 年以上も愛



50 数年みこちゃんと…。

筆先に集中

6月24日 (月)

住民の自由な発想で学びの場を提供する「ものぐさ大」では、専称寺初の写経会を開催。



一心不乱に45分…。

25名の参加者は住職から写経の心得を学んだあと法然上人の念仏に対する姿勢が書かれた「一枚起請文」を書き写しました。約45分間、参加者は筆先に集中し、忙しさを忘れ静かに書と向き合いました。次回の開催が待ち遠しいひと時でした。



夏越の祓 茅の輪くぐり

「オニイちゃん、これなに？」
「ナンだろうネ！」

岩崎神社では6月23日「夏越の祓」の神事が執り行われ、氏子総代の方々が大鳥居に茅の輪を飾り付けました。八の字を描いて茅の輪をくぐれば、生活の中で知らずに身についた穢れを祓い清め、疫病や災難を免れるとされています。

芝沢せせらぎに たくさんのホタル

6月29日 (土) 芝沢運動広場と芝沢小学校せせらぎを会場



ホタルが舞う前ビンゴに夢中

場に12回目「ホタル祭り」が開催されました。3月に「ホタルを育む会」と、4月に芝沢小6年生が育てた幼虫合計600匹が放流されました。

せせらぎの川辺の恵まれた環境で、5月の連休明けには幼虫の上陸が始まり、さなぎとなって羽化し、6月3日には早くも舞い出すホタルが見られました。

「ホタル祭り」当日には40匹以上のホタルが宵闇をやさしく照らし、せせらぎのあちこちから親子の歓声があがっていました。

着任のご挨拶



松本市立
芝沢小学校校長
上條昌明

前任の飯沼秀文校長先生の後を受けて、芝沢小学校の校長に就任いたしました。よろしくお願ひいたします。

70名の新入生を迎え、開校47年目となる本年度は、全校455名でスタートいたしました。

「みんなが笑顔でいられる楽しい学校」をスローガンに、6年生が先頭に立ち児童会も活動を始めました。子ども

シリーズ 私たちの先生



松本大学総合経営学部
観光ホスピタリティ
学科
教授 大野 整先生

松本大学に勤める前は高校の教員として働いていました。定年まで県内各地の高校で簿記やコンピュータなどの実学を教えてきました。高度成長期の頃、企業で働く意欲ある若者を社会に送り出すことはやりがいがありました。若者が、時代が変わる中で若者に知識や技術を教えるだけではないのか、もつと若者が元気が

出る教育は何か必要かを考えるようになりました。先日、「茶房みずゝ屋」さんで、学生が年配の方々のお話に目を輝かせて聞き入る姿を見て感動しました。変化する社会に旅立つ若者に生きる力を教えることができるのは学校だけではない。社会や地域の人々に担ってもらうことで生まれる優れた教育を忘れていないだろうか。私は、県内の高校生が学校を越えて集まって学ぶ「マーケティング塾」に携わっていますが、学びのスタイルは様々です。また様々であるべきだと思います。若者が元気に社会で活躍できる教育を地域の方々と共に考えてみたいと思っています。

町会対抗球技大会

5月19日 (日) 町会対抗ソフトボール・ソフトバレーボール大会が行われました。

●ソフトボール

- Aコート
優勝 下新北 準優勝 北新西
- Bコート
優勝 上新東 準優勝 南新中

●ソフトバレーボール

- 優勝 下新北 準優勝 上新東
- 3位 東新